

授業改善プラン 八雲小学校

第6学年授業改善プラン

第6学年

	課 題	解決のための手だて
国語	【領 域：話すこと・聞くこと】 ○互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げる。 【領 域：書くこと】 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。	・話題に沿って自分の立場を明確にすること、その立場を選んだ理由をはっきりさせることができるようにするために、日頃の学習から、自分の立場を明確にして学習に参加する機会を多くする。 ・文学的な文章の内容を一文にまとめる活動を取り入れて5W1Hについて意識できるようにしたり、説明的な文章では要旨や要点をまとめる活動をしたこと、目的に応じて内容を取捨選択して書く経験ができるようにする。また、定期的に作文を書く活動を取り入れて、自分の考えを表現することを積み重ねることができるようにする。
社会	【見方・考え方：事象や人々の相互関係】 ○資料に着目して、湖のよごれの変化を読み取り、それをおさえるための対策を捉え、判断する。 ○資料に着目して、日本のコメの生産量と消費量の変化を捉え、判断する。	・資料（地図、グラフ、表）を読み取るときに、表題や単位、凡例をまず確かめるなど、基本的な方法をまずおさえることで、全員が、読み取れる事実と人々の取り組みや社会的背景とのつながりを関連付けて考えることができるようにする。 ・「日本とつながりの深い国々」や「世界の人々と共に生きる」では、日本や世界が抱える課題について、図や表から読み取る活動を丁寧に行う。そして、平和や環境の維持に関して、世界の人々と日本が相互に関わり合っていることを捉え、自分の考えとして表現し共有する機会を設定することで、主体的に世界の事象に関わっていこうとする意欲をもたせる。
算数	【領 域：数と計算】 ○文章問題を解くために立式した小数÷小数の計算式から、商を整数まで求めて正しく余りの処理をする。 【領 域：図形】 ○正方形の紙を3回折って切った形が正八角形だと判断する。 【領 域：データの活用】 ○帯グラフや円グラフを正しく読み取り、分かることを判断する。	・商は正しく立てられる一方で、余りに関する誤答が多く見られた。日頃から答えの見通しをもって計算に取り組むことを習慣付けていくことで、商や余りの大きさを正しく判断できるようにする。 ・「拡大図と縮図」の学習で、図形の構成要素について着目させ、それを生かした作図の機会を多く設定することを通して、図形についての理解を深められるようにする。また、パターンプロック等を活用した操作活動や多様な図形の作図などを行い、図形感覚を養うことができるようにする。 ・基礎コースでは割合と実際の数の違いなどを丁寧に確認する。発展コースでは、統計資料等を活用して、実社会で活用されている表やグラフから分かることを表現する機会を増やすことを通して、生活とのつながりを実感できるようにする。

理科	【領域：生命・地球】 ○川原の石の写真から、観察された川原の場所を推測できる。 【領域：物質・エネルギー】 ○水の温度を下げたとき、ミョウバンの溶解度が大きく下がり、溶け残りが生じることを推測できる。	・課題設定において、日頃の生活との結びつきを意識させたり児童の疑問を取り上げたりすることで、観察や実験のねらいを意識して考察したり、結果をもとに推測したりすることができるようにする。 ・「溶ける」ことの意味について、単元の始めに丁寧におさえることで、5年生の学習との関連を図る。 ・「水溶液の性質とはたらき」では、水を蒸発させると白いものが残った水溶液には何が溶けているかを推論させ、自分なりの根拠をもって具体的に書く時間を設定する。溶質によってさまざまな性質があることに関心がもてるように、教科書のコラムや動画などを活用して取り上げる。
外国語	【領域：書くこと】 ○音声を聞き、活字体の大文字や小文字を正しく書く。 ○ものの場所を説明する場面で、適切な位置を表す語を書き写す。 【領域：聞くこと】 ○身近で簡単な語を聞き、その意味を理解する。	・音声で十分に慣れ親しんだ英語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりする活動を繰り返し行う。定着に差があるので、改めて文字の特徴や書き方のきまりを確かめる時間を設定して、自信をもって書くことに取り組めるようにする。 ・フォニックスを活用して、英語の文字と音声とのつながりについて慣れ親しむことができるようにする。 ・他の領域と比べて、得意な児童と苦手な児童の差が大きい。経験値の差が大きく関係していると考えられる。音声を繰り返し聞く機会を増やすことによって、授業で外国語に初めてふれる児童も安心感をもって学習できるようにする。 また、iPadを使って、QRコードから音声を聞くことができる機能やデジタル教科書で何度も音声を聞ける機能を児童に紹介し、積極的に活用するよう指導する。